

議会だより

6月定例会

■発行／八千代町議会

No.190

■編集／議会だより編集委員会

八千代町特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例を可決

令和5年第2回定例会は、6月8日から15日までの8日間の日程で開催されました。この定例会では、町執行部から八千代町特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例をはじめ、補正予算など9議案が提案され、審議の結果、全ての議案を原案のとおり可決しました。一般質問は6月14日と15日に行われ、9人の議員が登壇し、町の方針をただしました。

可決した議案内容

● 議員提出議案

◇町議会の個人情報保護に関する条例

個人情報保護の保護に関する法律が改正され、議会は個人情報保護法の適用対象外となることから、現在の個人情報保護水準を維持するため、新たに制定するものです。

● 条例

◇特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例
町内のヤードにおける特定自動車部品の保管等の適正化を図り、町民の生活環境を保全するために制定するものです。

● 予算

◇一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出をそれぞれ1億8,599万4,000円増額し、予算総額を8億3,954万1,000円とするものです。

● 人事

◇監査委員の選任同意

9月12日をもって任期満了となることに伴い、左記の1氏を選任することに同意しました。

齊藤実さん(水口)

● 専決処分

◇税条例の一部改正

地方税法、地方税施行令等の改正に伴い、軽自動車税の税率区分の令和5年12月までの据え置き及び軽減特例の期間延長、設備投資に係る固定資産税の特例措置を創設したものです。

◇国民健康保険税条例の一部改正
地方税法施行令の改正に伴い国民健康保険税の賦課限度額を引き上げたものです。

◇国民健康保険条例の一部改正
健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金を48万8,000円に増額したものです。

◇一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ1億2,557万円増額し、予算総額を82億3,757万円としたものです。

◇一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出をそれぞれ1,337万7,000円増額し、予算総額を82億5,094万7,000円としたものです。

● 報告

◇土地開発公社令和5年度事業計画及び令和4年度決算

◇令和4年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

◇令和4年度下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

◇水道事業会計継続費繰越計算書

◇損害賠償の額の決定及び和解の専決処分事項の報告

廣瀬賢一議員のご逝去を悼む



八千代町議会議員の廣瀬賢一氏が、去る令和5年4月24日に逝去されました。

同氏は、平成23年、町議会議員に初当選されて以来、連続3期、約12年にわたり在職し、この間、副議長、産業建設常任委員長など数々の要職を歴任され、町の振興と発展、議会の円滑な運営のためにご尽力されました。八千代町議会は、同氏の生前のご功績を讃えるとともに、ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

学校教育について



関 眞幸 議員

関教育長が4月より就任されました。教育行政のトップである関教育長の考えをお聞きします。

当町の教育で、これまでの流れを継承していく部分と変えていくべき部分をお聞きします。また、学校とは団体生活の場です。しかし、現在では個性を伸ばす教育も重要視されています。どうやって両立させていくのか、見解を伺います。最後に、当町でも児童生徒数の減少が問題となっています。学校教育のブランディングを行い、児童生徒を確保することを提案します。

教育長 八千代町の教育の目指すところは、子供たちが一

人一人輝いていくことです。これは継承したいと考えています。私はそれに加え、生きる力を身に付けてほしいと思っています。その中でも、「意欲・思いやり・命」この3つを大切にしています。これは、町内7校におけるブランドデザインに反映するよう指示を出しています。

個性を引き出すというところでは、特別活動というの大きな役割を果たします。学校行事をはじめ、各学級での課題等について、自分事として捉えて解決の方向に向かって話し合いをすることを重視するようにしています。児童主体、生徒主体の学校行事を仕組んでもらい、子供たちが体験をした後に、あたかも自分達の力で成し遂げたというような充実感が味わえるような学校行事をつくるよう心掛けております。

八千代町の学校教育におけるブランディングを考えます

八千代グリーンビレッジの温泉施設の更 新と遊休地の活用による憩いの場づくり



谷中 理矩 議員

八千代グリーンビレッジが開業し、30年近い年月が経過しています。施設の老朽化が目立ち、それに伴う改修の必要性が生まれています。国が温泉施設に求める基準も少し

と、私は「意欲・思いやり・命」に併せて「愛郷無限」を掲げています。いかに故郷のために貢献できるかを考え、そして故郷を思い続ける心を育てていきたいと考えております。



ずつ変化しています。また、利用者の目線に立つと、きれいで最新の設備に改修しておくことが利用者の安全や気持ちいい入浴にもつながります。今後の改修の計画についてお聞きします。

また、遊休地となっている果樹園をマウンテンバイクが楽しめる空間として活用することを提案します。現在、アウトドアスポーツを楽しむ人口は増加の傾向にあります。アウトドアスポーツは競技としてだけではなく、一つの力ルチャーとして成立し、子供も大人も世代を超えて楽しむことができるものになっております。こうした施設が出来る

と、そこで新たなコミュニティができ、そこから一つの経済圏が生まれ、憩遊館の集客にもつながると考えます。

産業建設部長 今年度については老朽化している浴室、ロッカー室、サウナルーム等の施設の改修を予定しております。予算額は2600万円

ほど計上しています。約2カ月間の休館となりますが、これはハード面の整備を実施することにより、温泉施設としての集客に資するものと考えております。

町長 八千代グリーンビレッジは、町内の人々の憩いの場として、町外の方にも八千代町の顔として大きな役割を果たしています。今後、全体計画を作成し、その中で財源等も確保し、施設の再整備をするのと並行して、社会情勢に合った新たな施設への取り組みも行ってまいりませう。新たな特色を備えた全世代の人が安心して遊べる場所に整備していきたいと考えております。未利用地につきましては、全体計画の中できちんと対応していきたいと思っております。



三役の行政について



大久保 敏夫 議員

八千代町の行政は町長、副町長、そして教育長の三役が主導し、全ての町民に平等に行き渡るように物事を進めなければなりません。そこで三役の方々に質問します。

町長が新たに任命した副町長と教育長に対して何を期待しているのかお聞きします。

副町長は行政経験が豊富だと聞いています。なぜ副町長の職を受けようと思ったのでしょうか。また、八千代町でどのような役割を果たしたいと考えていますか。

教育長は八千代町出身だとお聞きしています。教育長という職を引き受けようと思った理由をお聞かせください。また、八千代町の小中学校の生徒に対して感じたことはありますか。

町長 副町長、教育長、共に八千代町の出身で他の自治体で行政経験を積んでいきます。副町長には、職員の人材育成はもとより、町が抱える行政課題へ積極的に取り組んでもらいたいと考えております。教育長には、今後の八千代町の学校のあり方について、長年の経験を生かし、より良い方向へ導いてほしいと思っております。

副町長 前職を退職してから6年のブランクがあつた私に、副町長の職が務まるのかと悩みましたが、最後は地元である八千代町に尽くしたいという思いから決意した次第でございます。長年の行政経験を生かし、モチベーションが高い状態で仕事を続けられるような人材を育成すると共に、町長の判断を仰がなくてもよい問題については、私の段階で解決していきたいと考えております。

教育長 私の座右の銘は「愛郷無限」です。教育長の話

1級町道8号線について



大久保 武 議員

1級町道8号線は若地内の結城坂東線から東落田地内、栗山地区を通り、筑波サーキット南側へ通じる、町の中央から南へ抜ける幹線道路です。西方面は1級町道12号線

伺った時、やっと実現できるなと思いましたが、微力ではありますが、八千代町の子どものための未来のために貢献したいと考えております。

次に、生徒たちに感じたことですが、八千代町の小中学校7校を全て訪問いたしました。小学校5校に共通して言えるのは、明るくて人見知りがなく、活動的であると感じました。中学校2校に関しては、大きな差はなく、素直で礼儀正しく、真面目に授業に取り組み姿が印象的でした。

から広域農道、さらには古河市の名崎工業団地や筑西幹線道路へ通じる、八千代町の産業発展のために重要な道路です。

第1期工事区間である若地内の結城坂東線から東落田地内のつくば古河線までが平成26年4月に開通となりました。この開通により栗山地区では一日も早い工事着手への期待が高まっています。現在の進捗状況と今後の計画についてお聞きします。

産業建設部長 今後の整備区間となります第2期工事区間は、東落田地内の県道つくば古河線の交差点から栗山地内を抜け、筑波サーキット南側までの区間となります。現在、用地測量業務に向けた予算措置について、茨城県や八千代町財政部門との協議を進めると同時に、流末排水路の確保に向けた各方面との協議を行っております。早期の工事竣工を目指して事業を推進してまいりますと考えております。

す。

町長 この1級町道8号線は、八千代町にとって、古河市から来て、町の真ん中を通って常総市に抜けていく動脈的な道路になりますので、この道路の完成は、地元はもとより、町としても早期開通を望んでおります。これまでも地権者の方との交渉を進めてきましたが、今般地権者の方が心を開いてくれます。これも、粘り強い交渉の成果であると感じております。

あとは財源をどうするかというところが問題となっております。国や茨城県との協議の中で、どれだけ早く実現化に向けて進められるかが課題となりますが、鋭意努力してまいります。



1級町道8号線

中心市街地のにぎわいの創出について



上野 政男 議員

平成元年より市街化区域において区画整理事業を実施しております。ここ数年で、一戸建て住宅や賃貸アパートは増加していますが、既存の飲食店が何店舗か閉店してしま

い、中心市街地としての都市基盤の機能性が乏しい状態です。また、八千代町は農業の町でありますが、中心市街地である区画整理後の一等地において、野菜などを耕作している農地も目立ちます。事業費総額115億円もの巨費を投じたのですから、当然のことながら費用対効果に見合った成果が求められます。

また、結城坂東線沿線にはもう少し商業施設が張り付くような施策が必要だと考えております。現状と今後の対策について見解を伺います。

秘書公室長 現在、社宅・社員寮整備支援事業や転入者住まい応援助成金、新婚家庭家賃助成金などの施策を展開し、市街化区域内の人口は増加傾向にあります。商業施設につきましても、民間企業に働きかけをして、官民連携による誘致も行いたいと考えております。

町長 民間企業のノウハウと資金を活用するPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）方式での子育て支援住宅整備を検討しております。完成すれば、八千代町では初の町営住宅となります。この事業を軌道に乗せ、商業施設の誘致にもつなげたいと考えております。併せて国道や県道沿いに、開発が可能な計画地区をつくる地区計画の策定も進めてまいりたいと思います。

事業費総額115億円を投資した費用対効果というものは、中心市街地の方々だけで

学校給食のアレルギー対策について



生井 和巳 議員

学校給食は、児童生徒に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、心身の健全な発達を促すことが大きな狙いとして行われる教育活動の一つです。また、学校給食

なく、八千代町全体にも及ばなければいけません。この理想像に向けて進んでまいりたいと思います。

その他の質問
・公共交通のバス路線変更について



は毎日の食事を通して良好な人間関係を築く場でもあり、児童生徒の生涯にわたる健康で充実した生活を送る能力を身につけさせる活動でもあります。教育の一環として実施している学校給食は、食物アレルギーなどの配慮が必要な児童生徒には可能な限り対応していくことが必要であります。八千代町の学校給食のアレルギー対策について伺います。

教育部長 新小学1年生の就学前の健康診断時に食物アレルギーアンケートを提出していただき、保護者、学校、栄養教諭で面談を実施し、個別支援のプランを作成して対応しております。プランは毎年見直しを行い、継続した対応をしております。また、アレルギーのある児童生徒の保護者には、アレルギー用の詳細な献立表と加工食品等に含まれるアレルギー物質の詳細な情報を提供し、アレルギー物質の有無の確認をしていただ

いた上で自己除去、もしくは弁当持参などの対応をしていただいております。

町長 教育の一環として実施している学校給食は、食物アレルギーなどの配慮が必要な児童生徒には可能な限り対応していく必要があると考えております。しかし、アレルギーの原因となる食品や症状は児童生徒により異なり、誤った判断や対応は体の成長に影響を与えるだけでなく、呼吸困難など重篤な症状となつて現れ、命に関わる場合もあります。よって、学校給食におけるアレルギー対策につきましては、安易な判断は避け、慎重な対応が求められるものと考えております。



へ 帯状疱疹



中山 勝三 議員

帯状疱疹は、50歳から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。現在、帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成する自治体が増えています。東京都は、助成事業を行う自治体に対して補助事業を実施しています。帯状疱疹ワクチン接種費用への助成を行うことについての見解を伺います。

保健福祉部長 現在、帯状疱疹ワクチンの接種については厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で定期接種に向けた議論が行われています。八千代町としては、分科会の動向や他の自治体の状況について情報収集を行うとともに、地元医師会の意見も伺いながら、ワクチン接種の助成について調査研究を進めてま

に ワクチン

います。



小中学校のプールは50年以上の年月の経過により設備は老朽化し、補修や維持管理に費用がかさんでいます。海洋センターについても、夏場の利用期間のみ周囲を覆っていますが、屋根はなく、鉄骨が腐食し、衛生環境が良いとは言えません。

町には、児童生徒たちに水泳の体験授業を提供する責任があります。プール施設に関する今後の方針を伺います。

町長 小中学校のプール施設に関しては、今後の学校の在り方と併せて考えるべき問題だと認識しております。また、八千代町では海洋センターだけでなく中央公民館、総合体育館、保健センターも老朽化しています。こうした施設の改修及び建て替え、小中学校の水泳事業を一カ所に集約すること、民間の力を借りること、全ての可能性を考

全 八千代町の環境保



安田 忠司 議員

地域の水路、農道などの老朽化が深刻な問題となっております。現在は各地域で多面的機能支払交付金を利用した地域活性化、補修などが行われています。しかし、補助金を

えて、海洋センターを改修するべきか、それとも移転するべきか十分に協議検討をしまいたいと考えております。



八千代海洋センター

もらっている地域と、もらっていない地域があると聞いています。町が中心となり、地域と一体となって進めていくべきと考えます。

また、不法投棄の問題や、高齢者や障害者の方々など、ごみ集積所まで行けない人が増えているなど、ごみに関する問題が顕在化しています。こうした問題に対して、八千代町はどう取り組むのか、お聞きします。

産業建設部長 交付金を利用するためには活動組織の設立が必要となります。現在は町内で10組織ございます。事業の推進については、事業に取り組む際の事務の煩雑さなどが課題となっておりますが、引き続き制度の周知徹底を図るとともに、地域の方々の意見を聞きながら、県や土地改良区等と連携し、活動組織への支援及び新たな地域の事業推進、農業水利施設の長寿命化対策に努めてまいります。

町民くらしの部長 不法投棄の通報や発見の連絡があった際には、環境対策課が現地を確認し、警察や茨城県と連携しながら対応をしています。他にも、防犯カメラの設置や、職員による定期的なパトロール、リアルタイムで不法投棄を通報できるスマートフォンアプリであるピリカの利用促進などの対応を行っております。

ごみの収集に関しては、今年度中に、ふれあい戸別収集事業を開始する予定です。この事業は、家庭ごみを集積所まで運搬することが困難な高齢者や障害者のみで構成されている世帯の生活環境の支援をするため、週に一回、それぞれの自宅までごみを収集に伺う事業でございます。

その他の質問
・アフターコロナの八千代町の取り組みとデジタル化推進と今後の活用について



町のひきこもりについて



増田 光利 議員

ひきこもりの問題は全世代間の問題となってきました。ひきこもり支援は一人一人の状況を把握して、より緊密な支援策が必要です。八千代町のひきこもりに対する支援をお聞きます。

保健福祉部長 現在、福祉介護課や健康増進課、社会福祉協議会など、複数の相談窓口を設けることにより相談しやすい環境づくりに努めています。さらに、相談者の状況に応じて、保健師などの専門職員による個別訪問や、産業カウンセラーによる面接を行っています。また、茨城県ひきこもり相談支援センターへの紹介など関係機関と連携し、適切な支援に努めております。

町長 引きこもりの支援をする際に、心得ておかなければならないことは、引きこもり状態にある全ての人が、社会的支援や治療を必要としているわけではないという点です。町としましては、支援の必要性を見きわめながら、適切な支援をおこなってまいりたいと思っております。

生活保護法の葬祭扶助について質問します。身寄りがなく、経済的に困窮して亡くなった方の葬祭費を行政が負担するケースが増えてきていると報道がありました。八千代町でも、同様の実態はあるのでしょうか。また、ある場合は、葬儀などどのように執行されるのかお聞きます。

保健福祉部長 八千代町において、亡くなった方に財産も身寄りもない場合には町が御遺体を引き取り、墓地埋葬等



「請願・陳情はどなたでも提出できます」

「請願」「陳情」は国や地方公共団体などの公共機関に対する要望を議会に訴える手段のことです。

「請願」と「陳情」では提出の方法や取り扱いが異なります。

※その他、詳しくは議会ホームページをご覧ください。



「議会を傍聴しませんか？」

より多くの皆さんに議会を身近に感じていただくために、議会傍聴や施設見学を受け付けています。各種団体や学校の社会見学にお取り入れください。

次の定例会は9月に行います。詳しい日程は議会ホームページをご覧ください。



議場は役場4階にあります

問 議会事務局
TEL 0296・48・1111
(内線4110)

教育民生常任委員会

委員会紹介

ってどんな委員会？

教育民生常任委員会は、八千代町議会に設置されている三つの常任委員会の一つです。教育民生常任委員会では、小中学校や学校教育、町の福祉等、優しいまちづくりに関する調査及び議案、請願、陳情等の審査を行っています。八千代町議会では、教育民生常任委員会の定数は5人とされており、主に定例会中に開催されます。



会議の様子